HWJ+ UD ２枚連動片引き戸扉施工説明書 （上吊り仕様・戸先ソフトクローズ機能付）

20210820

◆施工後の処置◆
- ○施工後は傷がつかないうように養生して下さい。
  養生テープを表面に直接貼らないでさい。
- ○清掃は柔らかい布に薄めの中性洗剤をつけ、かたくしぼって拭いてください。
- ○内装工事が終わるまでの間、引き戸を外して保管されることをお勧めします。

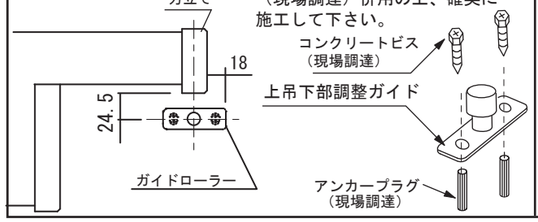
（組立て前に必ずご確認下さい） 梱包内容の確認 ※施工にはドライバーの他に金具の調整、取付けにスパナ13ミリと8ミリが必要です。

戸先側プレート ⊕ナベタッピングビス 4×25 4本付 中央扉用 ×1	平プレート（滑車無し） ⊕ナベタッピングビス 4×25 4本付 取手付扉用 ×2	ワイヤーセット ⊕皿タッピングビス 4×25 1本付 六角レンチ ×1	六角ボルト M8×40 ×4	オプション（中央扉戸尻側） 戸当りキャッチ（ビス付） 4×53 2本 ×1	
戸尻側プレート（滑車付き） ⊕ナベタッピングビス 4×25 4本付 中央扉用 ×1	L型ガイドローラー ＋皿タッピングビス4×25 3本付 ×1	ジョイントプレート ⊕ナベタッピングビス4×25 2本付 ×1	ガイドローラー ＋皿タッピングビス4×25 2本付 ×1	ケアシール ×1	施工説明書（本紙） ×1

1 ガイドローラーの取付け

下図のように床にガイドローラーを
付属のビス（4×25）で取付けます。
※施工は必ず専門の施工業者が行って下さい。

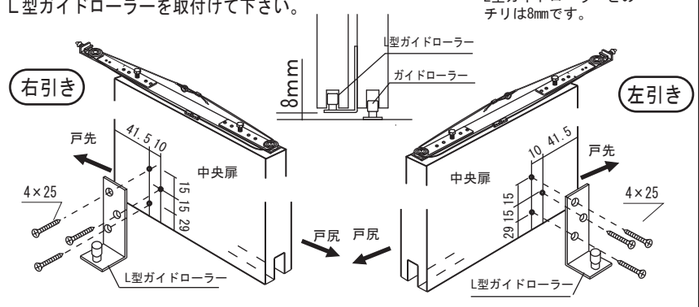
※床下地がコンクリートの場合は、コンクリートビス・アンカープラグ（現場調達）併用の上、確実に施工して下さい。



2 L型ガイドローラーの取付け

下記図を参照にφ３ミリ深さ１０ミリの下穴をあけてから、
L型ガイドローラーを取付けて下さい。

扉を吊り込んだ状態の床とL型ガイドローラーとのチリは8mmです。



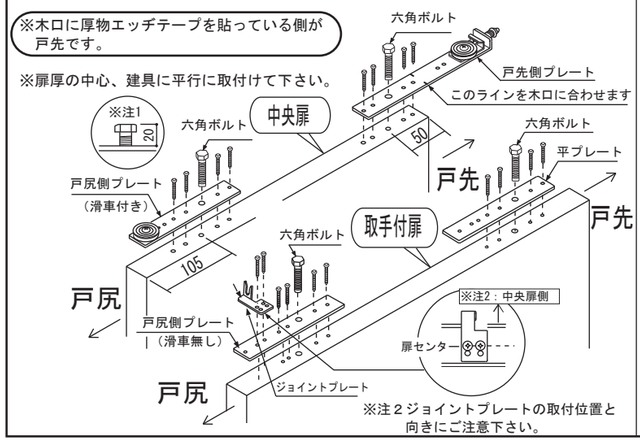
3 金具の取付け

各プレートを下図を参照に取り付けます。

吊りボルトを20mmの高さに取り付けます。※注1

※木口に厚物エッヂテープを貼っている側が戸先です。

※扉厚の中心、建具に平行に取付けて下さい。

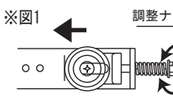


※注２ジョイントプレートの取付位置と向きにご注意下さい。

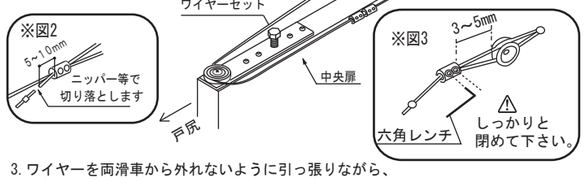
4 ワイヤーの取付・調整

1. 中央部の戸先側の滑車を初期設定の状態で内側に寄せてワイヤーを取付けます。

※図1



2. ワイヤーを両滑車に通し、輪を作るように通します。

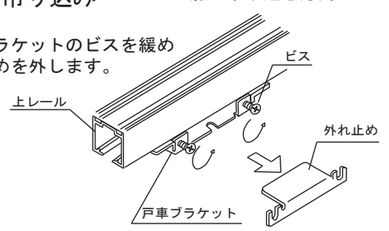


3. ワイヤーを両滑車から外れないように引っ張りながら、六角レンチでワイヤーロックのねじを強く締めます。※図3
4. 調整ナットによりワイヤーの張り調整を行います。※図1
5. 固定後、余分なワイヤーを５～１０mm残し切り落とします。※図2

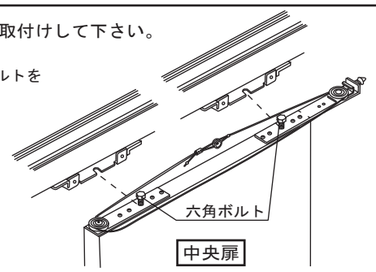
5 扉の吊り込み

扉の吊り込む方向にご注意下さい。中央扉→取っ手付扉の順で取付けして下さい。

① 戸車ブラケットのビスを緩め
外れ止めを外します。

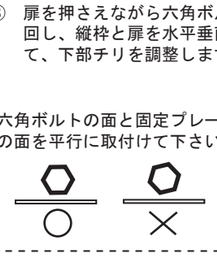


② 戸車ブラケットのU溝に六角ボルトを
引っ掛けて扉を吊り込みます。

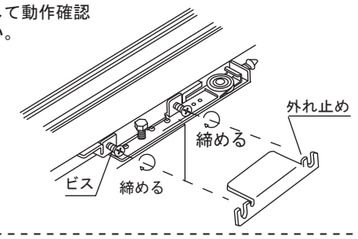


③ 扉を押さえながら六角ボルトを回し、縦枠と扉を水平垂直にして、下部チリを調整します。

※六角ボルトの面と固定プレートの面を平行に取付けて下さい。

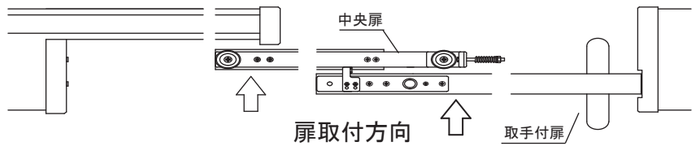


④ 外れ止めを下記の図の様に取付け、ビスで締めて下さい。
次に扉を開閉して動作確認を行って下さい。



注意
外れ止めがゆるんでないか確認をして下さい。
扉が外れるおそれがあります

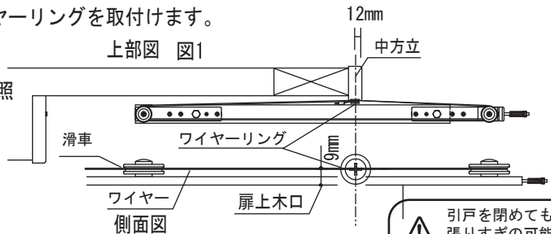
扉取付方向

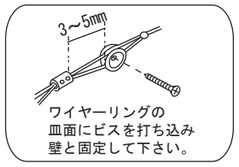


6 ワイヤーの接続 ドアを全開にし、ワイヤーリングを取付けます。

①扉吊り込み側、中方立ての巾中央**12mm**、図1参照
鴨居下から**25mm**（ワイヤー）の位置に
ワイヤーリングを取付けて下さい。図2参照

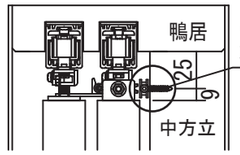
上部図 図1





引戸を閉めても開いてくる場合、ワイヤーの張りすぎの可能性があります。4 にしたがってワイヤーを緩め調整して下さい。

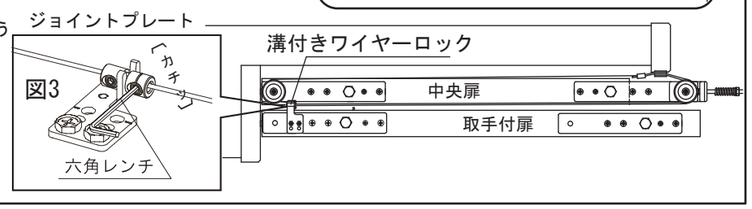
図2



※扉のガラスモールが中方立に干渉しないようクリアランスにご注意願います。

②中央扉と取手付扉を引き込んだ状態で、
ジョイントプレートのU溝に溝付き
ワイヤーロックををかけて、六角レンチ
で締めて下さい。図3参照

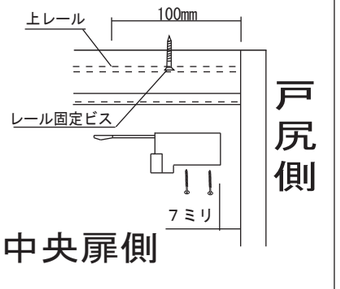
図3



OP 戸当りキャッチの取付け（オプション）

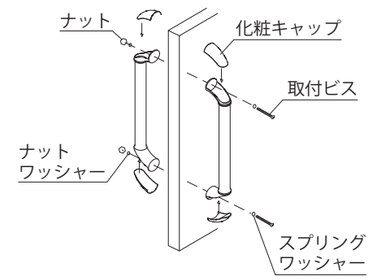
中央扉のレール戸尻側からストッパー端まで７ミリの所で
位置出しをしてから、付属のビスを使用し
電動ドライバー固定して下さい。（トルクに注意）
調整は引き戸を閉めて位置出しをして下さい。（下図参照）

注意
戸当りキャッチ取付位置（約100mm）の間にレール固定ビスがある場合は、ビスを抜いてから戸当りキャッチを取付けて下さい。



7 ユニバーサルハンドルの取付け

取手付扉に大型取手を取付けます。

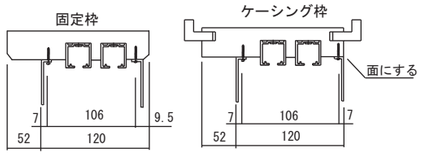


8 幕板の取付け

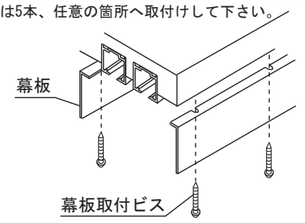
引き戸の吊り込み後、鴨居にφ3の下穴を開け、
幕板取付けビスにて取付けして下さい。

幕板（小）は室内側
幕板（大）は室外側に取付けます。

注意
ケーシング枠の場合は、ケーシングを取付けた後に幕板を取付けして下さい。

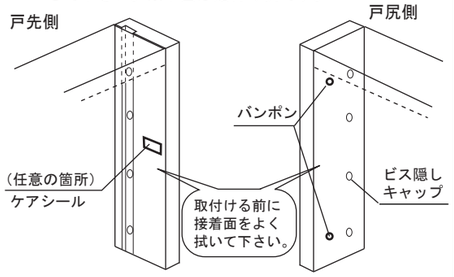


ビスの取付けは幕板（小）は3本、幕板（大）は5本、任意の箇所へ取付けして下さい。



※メンテナンスの為、幕板は取り外しが必要ですので絶対に接着（接着剤等）をしないで下さい。

9 バンポンの取付け・ケアシールの貼付け

1・戸尻側の枠のビス隠しキャップ位置に合せ、バンポンを上下に取付けして下さい。

2・戸先側の枠にケアシールを任意の見易い箇所に貼付けして下さい。※下図は貼付け例です。